

平成 26 年度 かながわ若年技能者人材育成支援等事業 推進計画

[推進方針]

○平成 25 年度の実績を踏まえて計画を作成。

・マイスターの活躍の促進

マイスター認定分野の拡大、活動の場の拡大 中小企業のマイスター派遣
先開拓等

・啓発活動の拡大

総合イベントの体験者数の増加、満足度向上、体験対象者の拡充等

○実施体制の強化

・平成 25 年度の実績を踏まえ、平成 26 年度の受託を目指すと共に、実施体制
の強化を図るために関連団体との連携を推進する。

高等学校や技能士団体、中小企業団体等との連絡会議の開催

1 「ものづくりマイスターの活用」

(1) ねらい

若年技能者の技能向上を図る仕組みを作るために、平成 25 年度に設置した「かながわ技能振興コーナー」が、以下のような事業を実施することで、神奈川における技能及び技能向上を促進する力の強化を図る。

(2) 事業の概要

① 広報および若年技能者と高度な技能を結びつける仕組みづくり

「かながわ技能振興コーナー」を若年者（技能が必要な者）ともものづくりマイスター等熟練技能者（必要な技能を持つ者）を結びつける結節点と位置づけ、必要な仕組みの整備を図る。

その為に、企業や団体等に所属する熟練技能者等を掘り起こし、「ものづくりマイスター」等としての認定を促進し、若年技能者の教育訓練に困難を感じている中小企業や工業高校等に対して、講習をコーディネートしたり、プログラムを提示したりすることで受け入れやすい形にして「ものづくりマイスター」を派遣する。また、このような熟練技能者の派遣が一過性にならないように、恒常的に機能するための仕組み作りを行う。

については、事業の効果を上げるために、広く各層に周知するための広報活動を行う。

☆広報事業

- ・「かながわ技能振興コーナー」ホームページでの情報発信
- ・マイスター募集パンフレットの改定、配付先の拡大
- ・ものづくりマイスター派遣事業PRパンフレットを改定し、高校向け、中小企業向け等に新たに作成し配布

☆しくみづくり

「情報交換・意見交換会」等の開催

主な派遣先である、若年技能者等が所属する中小企業や工業高校等を中心メンバーにした「情報・意見交換会」を開催し、情報交換と共にニーズ把握、派遣方法やカリキュラム、派遣時期や職種等について意見交換を行い、今後のより効果的な派遣方法の改善に生かすと共に「かながわ技能振興コーナー」との関係の構築と効果的な運営のしくみづくりに努める。

また、派遣されたマイスターによる、問題点の把握のための経験交流・情報交換会を開催し今後の派遣指導の改善に生かすとともに、上記「情報・意見交換会」に反映する。

② 若年技能者の人材育成にかかる相談・援助

若年技能者や技能に興味のある若年者に対し、技能向上や、習得に対しての相談・情報提供等を行う。

また、若年技能者の育成が困難な中小企業や教育機関等に対し相談、指導を行うと共に、ニーズの把握に努める。

③ 技能向上にかかる人材育成のための講習等のコーディネート

若年技能者等の技能向上のための支援を行う。

中小企業や工業高校等派遣先のニーズを聞き取り、必要な講習カリキュラム等を作成し、訓練施設、設備、機材等を含めたコーディネートを行う。

特に、中小製造業等のマイスター受入に対しては相談を受けると共に事例や教材などを紹介し積極的に支援する。

課題の作成に当たっては、技能検定や技能五輪の公開課題を対象者に合わせカスタマイズするなどして、積極的に活用する。

④ 「ものづくりマイスター」の開拓等

平成 25 年度に認定者がいなかった分野、やむを得ず地域における技能振興の熟練技能者派遣で対応した分野のマイスター開拓、認定を促進する。そのために、該当する企業や技能士団体等に働きかけを行う。

分野例：電工、菓子製造、メカトロニクス、自動車工、鳶、かわらぶき、電子回路接続、和裁、IT ネットワークシステム管理、タイル張り、婦人子供服製造、電気機器組立て 等

目標 50人の認定

⑤ 「ものづくりマイスター」の派遣等による実技指導支援

若年技能者の技能向上や、若い技能指導者の育成が困難な中小企業や教育訓練機関等に対し、「ものづくりマイスター」を派遣するとともに、材料費等の支援を行う。

- ・ 県内中小企業への派遣を増やす
- ・ 国の方針(若年技能者人材育成支援等事業の拡充(平成 26 年度))に沿い、工業高校等の学校教育との連携を深め、支援の拡充を図る。

短期派遣：競技会に出場する選手の技能向上等、短期的な目的とするもの。

1回の派遣は1日から5日程度

目標 3日×16人×32回 1,536人日

長期派遣：長期にわたる訓練が必要なものや、高校の実技カリキュラム等に合わせて派遣するもの。

1回の派遣は2週間から3月程度

目標 10日×3人×10回 300人日

⑥ 「ものづくりマイスター」に対する指導技法等の講習

指導経験や職業訓練指導員資格がない者を対象として指導技法等の講習を実施し、指導法を身につけると共に、指導に対する不安を払拭する。

1講座1日 複数回実施

また、多様な中小企業のニーズに対応するため「ものづくりマイスター」の指導法等の一層のレベルアップを図る講習を実施する。

1回実施

2 「地域における技能振興」

(1) ねらい

神奈川において、大切な技能についての社会の理解を深めると共に、若年技能者を育成する企業や団体、及び若年技能者を支援するために、以下のような事業を総合的に実施する。

- ① 技能五輪全国大会の予選の実施、援助
- ② 意見交換会等の実施
- ③ 技能体験・啓発のための総合イベントの実施
- ④ 技能五輪選手や若年技能士等を中心に小中高校等に派遣
- ⑤ 熟練技能者等派遣
- ⑥ 出前型ものづくり体験教室の実施
- ⑦ ものづくりツアーの実施

⑧ 技能ニーズ調査の実施

(2) 事業の詳細

① 技能五輪全国大会予選の実施、及び派遣選手等の援助

積極的に技能に関わろうとする若年者への支援を行い、さらなる技能向上を支援するとともに激励する。

- ・技能五輪全国大会の予選実施

開催 2 職種程度

例 西洋料理等 (種目については団体等と受託後調整)

- ・中小企業や学生等の技能五輪全国大会への参加選手及び指導者等への参加旅費、運搬費の支援をする。

技能五輪全国大会

派遣 40 人程度

運搬 30 件程度

② 技能体験・啓発総合イベントの実施

平成 25 年度に実施したイベントの成果を踏まえ、平成 25 年度同様な規模で、より多くの小中高校生や保護者が参加できるように、夏休み中の土曜、日曜で開催する。

(案)

開催日時 平成 26 年 8 月 2 日(土)・3 日(日)

会場：パシフィコ横浜

[ねらい]

子供から若年者、一般県民を対象に、技能・技術への興味やものづくりに関係する先端産業から手工業までの様々な仕事に対する理解と関心を深めてもらうため、参加・体験型イベントを開催し、併せて社会の技能尊重の気運を醸成する。

また、若者等の仕事に対する理解を深めるため、普段の生活では見たり、体験することができないような仕事とその環境等との関わりなど社会における役割を紹介するとともに、技能や技術、プロフェッショナルが持つ高い能力や技、ものづくりの素晴らしさを一貫して体験・体感できるイベントとする。

[内容]

- ・楽しみながら様々なレベルの技能を体験し、技能に対する親しみと関心を深めてもらう。
- ・体験や実演、展示を通して神奈川で展開し、神奈川を支えるものづくり産業、及びその先端技能やリユース等環境との関わりや役割など新たな展開の理解を深め、その根幹を担う仕事、技術・技能への関心を深めてもらう。

- ・熟練技能を持つ職人の魅力をアピールし、将来の目標や夢へのヒントとしてもらう。

(1) 様々な段階の体験

① 技にチャレンジ

子供が楽しく参加でき、手を使って作業することや、ものを作ることの基本に親しむプログラム

② ものづくり体験

子供や親子でものづくりを楽しめ、作り上げる達成感の味わえるプログラム

③ ほんもの体験

プロフェッショナルな技術・技能にチャレンジし、プロの技のすごさを体感するプログラム

(2) 見て、触って体感する

① ステージイベントの実施

② 実物展示の展開

(3) 実演、展示紹介

① 企業による展示・実演等

② 教育訓練機関等による展示、実演等

(4) 技能についての理解を深める、学び方を知る

① 技能・仕事総合相談コーナー

② 技能士や名工等の作品展示

③ 技能五輪選手や若年技能者等を中心に小中高校等に派遣

キャリア教育と連携して、五輪メダリストや若年技能者等を小中高校に派遣し、実演や講演、及び生徒に一部体験させることで、技能や関連する職業の魅力をアピールする。

ねらいとしては、若い世代が技能に輝く姿やその技能に接することで、ものづくりや技能の楽しさを身近に体験してもらう。

派遣期間は1から2日間

15回程度の派遣

④ 熟練技能者等派遣

ものづくりマイスターの対象外職種の若年技能者の技能向上や、中小企業や工業高校等で若手の技能指導者を養成したいが困難な場合などに、熟練技能者等を派遣し技能向上を図るとともに、現場経験等実務のノウハウを伝えることで、中小企業や学校の技能指導力を向上させ、若年技能者の技能向上のための体制づくりを支援する。

1回1～3日

⑤ 出前型ものづくり体験教室の実施

学校等の要望に基づき、ものづくりマイスターや技能者等が学校等に出向き、大工作業などのものづくり体験教室を開催する。生徒に基礎的な技能を体験してもらうことで、ものづくりや技能に対する楽しさや親しみを醸成する。

開催 5 回（職種）程度

⑥ ものづくりツアーの実施

ものづくり企業を中心にバスツアーによる、ものづくり現場や企業見学、技能大会等の見学を行う。高校等のキャリア教育と連携して、ものづくりの現場を知らない生徒や保護者にもものづくりの職場や、技能の実際を知ってもらい、技能や職業について啓発する。

また、卒業後未就職な若者や、若年フリーター等（かながわ若年者就職支援センターや職業安定所等と連携してもものづくりに興味のある若者を対象に募集する）に対し、ものづくり現場の紹介や企業の説明の機会を作ることで、就職や職業訓練などキャリア形成への展望と意欲を促進する。

開催 4 回程度

⑦ 技能ニーズ調査の実施

平成 25 年度に実施した、技能ニーズアンケート結果によって判明した技能ニーズと、工業高校や職業訓練校で身につけることのできる技能の種類やレベルとのギャップ、技能検定との関連等を分析する。必要に応じて高校等に対するアンケート調査も実施する。

結果は企業や学校に還元するとともに、ものづくりマイスターの派遣時のコーディネート等に援用する等の活用を図る。

3 「地方公共団体、経済団体等との連携会議の開催」

(1) ねらい

国や地方公共団体、経済団体、労働団体及び関係機関等による連携会議を開催し、事業の効果的な企画・実施を図ると共に、社会的な事業への関心を高める。

(2) 事業の概要

①連携会議の開催

連携会議を年 3 回開催する。

主な内容は、推進計画、進捗管理、実施計画についての検討、及び技能振興等の取り組みや、事業実施にあたっての連携協力についてとする。

メンバーは神奈川県、神奈川労働局、神奈川県経営者協会、神奈川県中小企業団体中央会のほか、日本労働組合総連合会神奈川県連合会、実施協力機関として高

齢・障害・求職者雇用支援機構神奈川職業訓練支援センター、神奈川県専修学校各種学校協会、神奈川県技能士会連合会、及び関係機関として神奈川県教育委員会、横浜市、川崎市で、必要に応じ見直しを行う。

②「ものづくりマイスター派遣等推進連絡会議」の開催

ものづくりマイスター派遣事業を拡大浸透させ事業の推進を図るために、さらに、派遣先のニーズをくみ取り、連携を密にし事業の効果を高めるために、工業高校や神奈川県技能士会連合会、中小企業団体等と推進連絡会議を開催する。